

# みなとまち新潟 歴史探訪⑬

問 歴史文化課

☎025-226-2584



## 地図や写真で見る万代島の今昔

多くの人々でにぎわう万代島は、時代とともに姿を変えてきました。

元々、万代島はその名の通り「島」でした。昭和4(1929)年には、一時、新潟市初の飛行場が設置されたことがありますが、ヨシなどが生い茂る場所でした。

昭和18(1943)年から埋め立て工事と棧橋の建設が行われました。これは、戦時下における新潟港の施設増強の一環でした。陸続きになった万代島には鉄道の引き込み線が敷かれ、石炭の荷揚げが行われました。

戦後になってから開発が本格化し、石油タンクや水産施設などが建設されました。昭和40年代後半から再開発が計画され、昭和56(1981)年に佐渡汽船ターミナルが対岸から移転してきました。そして、平成15(2003)年の朱鷺メッセ開業などを経て、国際交流拠点としての現在の形になりました。



昭和6年の万代島付近

(出典：国土地理院発行25000分の1地形図)



国際交流拠点としてにぎわう現在の万代島